

【2024年度】児童発達支援事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	ハッピーライフみなと				
○保護者評価実施期間	2024年11月20日 ～2024年12月20日				
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	1	
○従業者評価実施期間	2025年1月15日 ～2025年1月31日				
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	6	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月10日				

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動室の空間を生かした運動遊び	感覚統合を取り入れ、目的を持った遊びの内容を検討している。	様々な研修を通して、運動遊びの素材の検討や内容の工夫を行っていく。
2	幅広い年齢層の児童同士の交流	異年代児童の関わりを進めるために、混合のグループ分けを行っている。	児童同士の交流の為に、それぞれの強みを知る機会を活動を通して作っていく。
3	法人内事業所同士の交流、合同イベントの実施。	季節ごとの活動内容を検討し、たくさんの児童との交流を目的に特色ある企画検討を行っている。	他の事業所との交流を恒例企画となるようにし、子どもたちが次の機会への期待感につながるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に根差した事業所を目指すうえでの、地域の方や地域の事業所等との交流を行えていない。	地域の事業所との連携がまだ不十分である点。	自立支援協議会を通じて連携を強化し、地域の事業所との合同イベントなどの実施を検討していく。
2	小学校高学年以上の児童が多いため、年少児童の安全確保に課題。	事業所の強みである運動遊びを行うに当たって、活動室が一空間である為、安全確保に留意が必要	スタッフの配置を工夫し、急な動きに対応できるよう体制を整える。マットを使用し、転倒時の怪我防止を行う。
3	個室空間での発達支援	集団活動を主な活動としていること、個別の活動を行う仕切られた空間がないこと。	小集団の枠組みで、個別に近い形での発達支援を行っていく。